

秋田県大仙市

野球に燃える
親父たちの

甲子園

開幕

平成
29年7月15日[土]~17日[月]

第1回 全国500歳野球大会

- 主催 大仙市 秋田魁新報社 (500歳・550歳野球大会実行委員会)
- 主管 秋田県軟式野球連盟 秋田県軟式野球連盟大仙支部
- 後援 公益財団法人全日本軟式野球連盟 公益財団法人秋田県体育協会
秋田県野球協会 大仙市教育委員会 大仙市体育協会
一般社団法人大仙市観光物産協会 株式会社日本旅行東北大曲支店

第1回 全国500歳野球大会開催要項

- 1 主催 大仙市・秋田魁新報社(500歳・550歳野球実行委員会) 10 監督・主将会議 出場チームの監督・主将または代理者、合計2名の出席で下記により行う。
(1)日時 平成29年7月14日(金) 午後3時30分～
(2)場所 グランドパレス川端
〒014-0063
秋田県大仙市大曲浜町7番39号
TEL 0187-62-0354
- 2 主管 秋田県軟式野球連盟・秋田県軟式野球連盟大仙支部
- 3 後援 公益財団法人全日本軟式野球連盟・公益財団法人秋田県体育協会・秋田県野球協会・大仙市教育委員会・大仙市体育協会・一般社団法人大仙市観光物産協会・秋田県日本旅行東北大曲支店
- 4 特別協賛 ナガセケンコー株式会社・(有)佐藤養助商店・サントリー一酒類(秋田支店・ミズノ(株)・東北醤油(株)・秋田清酒(株)・秋田おばこ農業協同組合(予定)
- 5 会場 大仙市総合公園野球場(大曲球場)・大仙市宮神岡野球場・大仙市宮八乙女球場・大仙市宮協和球場・大仙市宮仙北球場・大仙市宮太田球場
- 6 大会日程 平成29年7月14日(金) 監督、主将会議
平成29年7月15日(土)～17日(月) 予備日:7月18日(火)
大会1日目の試合開始時刻は、開会式後の移動時間を考慮し、別に定める。また、第二試合以降は試合の進行状況によって前後するため、早めに集合すること。
※雨天順延等による予備日及び会場は別途連絡する。また、降雨等により日程どおりの実施が不可能と判断した場合は、随時変更する場合もある。
- 7 出場チーム ●秋田県を含む各都道府県から全32チーム
●各都道府県チーム
Ⅰ 出場チームの選出は、事前に大会事務局へ本大会への参加意向を申し出たチームとする。
Ⅱ その他、大会主催者が特に認めたチーム。
●前年度優勝、準優勝チーム(プレ大会の成績を含む)
●秋田県代表2チーム(前年度全県500歳野球大会優勝・準優勝チーム)
●特別枠① 大仙市交流都市枠(3チーム)
神奈川県座間市 1
岩手県宮古市 1
宮崎県宮崎市 1
●特別枠② 大仙市枠(大仙市内から2チーム)
出場チームは前年度全県500歳野球大会の上位進出チームとする。
●特別枠③ 上記においても定数に満たない場合は、前年度全県500歳野球大会の上位成績チーム及び開催地の上位成績チームを大会主催者が選抜する。
- 8 出場資格 (1)大会開催年度内に満50歳以上となる方。(昭和43年4月1日以前生まれの方)
(2)登録は、監督、主将を含め30人以内とする。
(3)ゲーム出場選手9人の合計年齢が500歳以上。
※年齢の算定基準日は平成29年7月15日とする。(大会初日)
- 9 組み合わせ抽選 大会役員立ち会いのもと、厳正に代理抽選を行う。
(1)日時 平成29年6月9日(金) 午後3時～
(2)場所 秋田魁新報社本社 6階 会議室
〒010-8601
秋田県秋田市山王臨海町1-1
TEL 018-888-1857
- 11 開 会 式 各出場チームは10名以上で参加すること。
(1)日時 平成29年7月15日(土) 午前8時00分～
(2)場所 大仙市総合公園野球場(大曲球場)
〒014-0073
秋田県大仙市内小友字明通58-1
TEL 0187-86-4121
- 12 表 彰 優 勝 賞状・優勝旗・優勝杯・優勝メダル
準優勝 賞状・準優勝杯・準優勝メダル
3 位 賞状(2チーム)・トロフィー
(個人賞) 最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・首位打者賞・敢闘賞・打撃賞・最優秀新人賞・オールドパワー賞(3位以上のチーム)
- 13 参 加 申 込 平成29年4月25日(火)必着で所定の用紙に記入し、郵送またはE-mailにて大会事務局(大仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課)へ申し込むこと。
※特別枠③で選ばれたチームに関しては、平成29年5月23日(火)までとする。
注1 申込用紙は29年1月下旬以降、大仙市・秋田魁新報社の両ホームページからダウンロード出来ます。
- 14 参 加 料 20,000円
- 15 宿 舎 等 幹 旋 宿舎、弁当、大会プログラム追加分の幹旋を希望するチームは別途ご案内申し上げます。
- 16 そ の 他 ●大会参加チームは、必ずスポーツ保険等に加入しておくこと。
万一、怪我等が発生した場合、当大会事務局では責任を負いません。
大会期間中の傷病については、大会本部では応急手当までとし、それ以降は当該チームまたは選手個人で負担のこと。
●大会参加者は健康保険証を持参すること。
●その他不明な点については、下記大会事務局までお問い合わせ下さい。

<本大会事務局・参加申込先>

〒014-8601 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号
大仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課
全国500歳野球大会事務局 (※大会参加申込書送付先)
TEL 0187-63-1111 (内線343)
E-mail kyouiku-sup@city.daisen.akita.jp

〒010-8601 秋田県秋田市山王臨海町1-1
秋田魁新報社 事業局 企画事業部
全国500歳野球大会事務局
TEL 018-888-1857
E-mail jigyo@sakigake.jp

全国500歳野球大会ルール

【球場規格】	本塁→両翼 75m 投手→本塁 16m	本塁→中堅 85m 塁間 23m
【出場資格】	原則50歳以上(基準日においては49歳の場合もあり得る) 出場選手9人の合計年齢が500歳以上であること	
【登録者数】	監督等を含め30名以内	
【背番号】	規定無し	
【使用球】	A号	
【スパイク】	ポイントスパイクを着用 ※金属製金具使用不可 ※ズック靴使用可	
【投手の年齢制限】	55歳までの投手はアウト12まで。56歳以上の投手は制限なし。ただし、延長回(タイブレーク)の際には制限を適用しない	
【時間制限】	1時間50分まで(交流戦は1時間30分まで)	
延長回に関わる特別規則(タイブレーク)	タイ・ブレークは一死満塁で行い、打順は任意とし走者は打者の逆順とする。(決勝戦も適用する。) ※交流戦は適用しない。	

【500歳野球の魅力】

軟式野球の全国大会は一般の選手権大会から退くと、40歳以上を対象とした「マスターズ野球大会」、60歳以上を対象とした「還暦野球大会」等があります。

現在、現役選手でプレーするには、50歳代を主とした大会が全国的に少ない状況にあります。500歳野球が50歳代を主力としながらも9人の合計年齢が500歳以上という特別ルールから、それぞれの戦略に合わせて50〜80歳代まで幅広い年齢層でチーム編成されており、マスターズや還暦野球は、○歳以上という年齢制限がないため、その年齢に達して出場しても次の年代が補強されると選手生命が短くなります。これに比べ、500歳野球は健康で体が動く限り、「生涯現役」を貫くことができますので、まさに夢見る「親父たちの甲子園」となり得ます。

更に、一度ゲームを退いても同ゲーム内で何度でも再出場可能という、他の野球大会では類のないルールが高齢者には最大の魅力であると思われる。